

住宅性能に対する居住者の意識に関する研究 —その6 全国7地域に対するアンケート調査の概要—

正会員 ○久木 章江*1
正会員 野沢 亜子*2

住宅性能 性能表示 居住者
重視度合 意識調査 地域性

§ 1 はじめに

近年、品確法なども制定され、住宅選定時に居住者自身が住宅性能の比較やレベル設定に関与することができるようになった。しかし住宅の性能種類は数多いこと、住教育をあまり受けていない大部分の市民にとって内容が専門的で難しいことなどの問題点も多く、また住宅性能表示制度なども専門家の視点で作成されるなど、居住者に分かりにくいのが現状である。

前報その1、2¹⁾では既往調査の結果を整理・分析し、居住者の世代、住居の属性、調査時期により重視する性能が変化することがわかった。また前報その3～5¹⁾では東京近郊在住の30歳代居住者にアンケート調査を行い、重視する住宅性能とその理由、一般的な住意識等の把握を行った。その結果、性能に対する重視度合に都心という影響を強く受けたと考えられる項目もみられた。

そこで調査対象を様々な地域特性をもつ全国7地域に拡大してアンケート調査を行い、地域性の違いを明らかにすることとし、これらの結果をその6～9で報告する。本報では調査の概要について報告する。

§ 2 調査概要

アンケートの概要を表1に示す。

表1 調査概要

調査項目の概要	東京近郊におけるアンケート調査		全国調査						
	一次調査	二次調査	平成15年10月～12月						
調査時期	平成15年2月下旬～4月	平成15年8月中旬～9月中旬							
調査地域	東京近郊 (東京・埼玉・神奈川・茨城)		北海道 札幌市近郊	宮城県 仙台市近郊	新潟県 長岡市近郊	兵庫県 神戸市近郊	長崎県 長崎市近郊	福岡県 福岡市近郊	
対象者	30歳代の男女								
調査数	75件	47件	59件	44件	34件	51件	65件	48件	
・住宅選定時に重視する住宅性能	・住宅選定時の住宅性能に対する重視順位	・住宅選定時に重視する住宅性能	・住宅選定時に重視する住宅性能	・住宅選定時に情報として必要に思う住宅性能	・住宅選定時の住宅性能に対する重視順位	・住宅選定時に情報として必要に思う住宅性能	・住宅選定時の住宅性能に対する重視順位	・住宅選定時に情報として必要に思う住宅性能	・住宅選定時の住宅性能に対する重視順位
・住宅選定時に情報として必要に思う住宅性能	・住宅性能に対する意識	・住宅選定時に情報として必要に思う住宅性能	・住宅選定時に情報として必要に思う住宅性能	・住宅性能表示制度に対する意識と知識	・住宅選定時の住宅性能に対する重視順位	・住宅性能表示制度に対する意識と知識	・住宅選定時の住宅性能に対する重視順位	・住宅選定時に情報として必要に思う住宅性能	・住宅選定時の住宅性能に対する重視順位
・住宅性能表示制度に対する意識と知識	・コストを含めた住宅性能に対する意識	・住宅性能表示制度に対する意識と知識	・住宅性能表示制度に対する意識と知識	・自己責任に対する意識	・住宅選定に関わる意識	・住宅性能表示制度に対する意識と知識	・住宅選定に関わる意識	・自己責任に対する意識	・住宅選定に関わる意識
・住宅選定時にグレード選択できる項目数	・地震安全性に対する意識	・住宅選定時にグレード選択できる項目数	・地震安全性に対する意識	・住宅選定に関わる意識	・住宅性能に対する意識	・住宅選定に関わる意識	・住宅性能に対する意識	・住宅選定に関わる意識	・住宅性能に対する意識
・情報として必要に思う項目数	・住宅選定に関わる意識	・情報として必要に思う項目数	・住宅選定に関わる意識	・住宅選定時に考える各性能項目の選定基準		・住宅選定時に考える各性能項目の選定基準		・住宅選定時に考える各性能項目の選定基準	

2003年7月～12月、北海道・札幌市近郊、宮城県・仙台市近郊、新潟県・長岡市近郊、兵庫県・神戸市近郊、長崎県・長崎市近郊、福岡県・福岡市近郊で先に実施した東京近郊と同様のアンケート調査を実施した。年代による違いを少なくするため、近年に住宅取得等を行う、あるいは行った可能性の高い30歳代を対象としている。

各地域は、地震の多い地域、過去大きな地震の起こっ

た地域、台風の多い地域、積雪の多い地域、都心の地域に注目して選定した。調査は住宅性能に対する意識、住宅選定時に重視する性能や情報として必要に思う性能等について実施し、各地域の違いを分析した。

§ 3 回答者の属性

回答者は住宅選定時に選定の決定権をもつ人とした。男女比は宮城県・仙台市近郊と新潟県・長岡市近郊では半数程度、その他の地域では女性が7割近くを占め、東京近郊では約8割であった。また、東京近郊、宮城県・仙台市近郊、北海道・札幌市近郊では30代前半の回答者が多く、新潟県・長岡市近郊、兵庫県・神戸市近郊、福岡県・福岡市近郊では30代半ば過ぎの回答者が多く、長崎県・長崎市近郊の回答者は比較的均等であった。

次に、回答者の住居形態を調査した。結果を図1に示す。東京近郊では戸建住宅よりもマンション居住者の方が多く、福岡県・福岡市近郊もマンション居住者が戸建住宅居住者の2倍以上となった。新潟県・長岡市近郊では戸建住宅居住者が圧倒的に多く、約8割であった。さらに、宮城県・仙台市近郊、兵庫県・神戸市近郊、長崎県・長崎市近郊も半数以上の居住者が戸建住宅に居住している結果になった。北海道・札幌市近郊では、戸建住宅とマンション居住者はほぼ同じ割合である。

次に、現在居住している住宅の入手形態について質問した結果を図2に示す。

兵庫県・神戸市近郊の回答者は約6割が「新築で購入」と回答した。他の地域では3割前後である。「中古での購入」は多くて1割程度と非常に少ない結果となった。また「賃貸」の居住者は大部分の地域で35%前後であったが、福岡県・福岡市近郊では約半数が賃貸である。また「両親の家あるいは実家に同居」と回答したのは新潟県・長岡市近郊15%程度、他の地域10%以下である。

さらに、現在の住宅の構造や工法について質問した。結果を図3に示す。

「木造(在来軸組工法)」は新潟県・長岡市近郊で73%と多く、次いで北海道・札幌市近郊46%であった。「鉄筋コンクリート構造」は東京近郊と福岡県・福岡市近郊が50%を超えている。また兵庫県・神戸市近郊では他の地域に比べ「ツーバイフォー」の割合が多い結果となった。

